

熊本地震・能登半島地震とこれからの熊本

～繰り返される地震災害からの学び～

2025
1/9 木曜日

14:00-16:50 (会場)

14:00-16:00 (オンライン)



能登半島地震 内灘町の液状化と側方流動



能登半島地震 輪島市の斜面崩壊



熊本地震 南阿蘇村の数鹿流崩れ

私たちは数多くの地震災害を経験し、被災毎に、地震や、災害に対応する知見を徐々に蓄積しています。今回の拡大版サイエンスカフェでは熊本地震や能登半島地震など、これまでの地震によりどのような知見が得られ、また、その知見はどのように役立てられたのかを検証するとともに、これからの熊本での地震防災の方向性について考えます。

～第一部～

(講演:120分)

- 令和6年能登半島地震による災害の地形・地質学的背景
塚脇 真二 教授(金沢大学環日本海域環境研究センター)
- 熊本地震や能登半島地震など地震発生メカニズムからみた次のリスクエリア
遠田 晋次 教授(東北大学災害科学国際研究所)
- 熊本地震や能登半島地震による道路構造物の被害と復旧
今田 一典 統括防災官(九州地方整備局 防災室)
- 九州減災コンソーシアムの取り組みと熊本での備え
松田 泰治 九州大名誉教授(九州減災コンソーシアム・元熊本大学減災センター長)

～第二部～

ディスカッション ※会場での開催となります

※防災センター1Fの展示・学習室も見学いただけます。

対象

どなたでも(会場定員:100名)

会場

熊本県防災センター・2F 201 会議室
(熊本市中央区水前寺 6-18-1 県庁敷地内)

オンライン配信(Webex)

接続情報は申し込み後にお知らせします

共催

熊本大学・熊本県危機管理防災課・阿蘇砂防事務所・
熊本地方気象台・阿蘇青少年交流の家・熊本県博物館ネットワークセンター

くまもとサイエンスカフェ

お茶を飲みながらゆったりとした対話形式で、熊本の自然や歴史を学び、得られた知見を暮らしや防災・減災に役立て頂くことを目的とした取り組みです。

お申込み・問い合わせ

以下の2次元コードもしくは、熊本県のwebフォーム、または、FAX(裏面申し込み用紙)からお申込みください。



締切り 1月6日(月) 17:00

※定員超過の場合は先着順

※空き状況により、当日参加も可能です

熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター
減災型社会システム部門

Tel. 096-342-3489(平日 9:00-16:00)

(不在時にはメールにてお問い合わせ下さい)

gensai0@kumamoto-u.ac.jp

熊本県 知事公室 危機管理防災課

Tel. 096-333-2811(平日 9:00-17:00)

Fax. 096-383-1503

申込先：熊本県危機管理防災課（FAX：096-383-1503）
申込期限：令和7年(2025年)1月6日(月)17時【必着】

令和6年度くまもとサイエンスカフェ拡大版
熊本地震・能登半島地震とこれからの熊本
～繰り返される地震災害からの学び～
F A X 参加申込書

受講方法 (該当する方に○)	<ul style="list-style-type: none">・現地会場参加（第1部講演・第2部ディスカッション）・オンライン（Webex）参加（第1部講演のみ） ※後日受講用URLをメールにて送付します
フリガナ	
氏名	
連絡先	電話番号： メールアドレス： ※緊急連絡用に使用します。
所属団体 (あれば)	
質問等	